

元行政相談委員に総務大臣から
感謝状が贈られました

行政相談委員として住民の皆さんの相談ごとを受け付け、悩み事やさまざまな問題の解決の力になっていただいた、堀野登子さんと山崎正男さんが、今年の3月末をもって委員を退任されました。

このたび、お二人の長年のご尽力に感謝して、総務大臣から感謝状が贈られることとなり、5月27日に佐賀庁舎で贈呈式が行われました。

感謝状を贈られ、これまでの功労が報われたことと思います。本当にお疲れさまでした。



山崎正男さん



堀野登子さん

高知県市町村選挙管理委員会
連合会表彰

黒潮町選

挙管理委員
会委員（委
員長職務代
理）、村越
良一さんが、
平成23年度
高知県市町
村選挙管理委員会連合会表彰を受
賞されました。



村越委員は平成11年6月（旧佐賀町選挙管理委員会委員就任）以来、12年余りにわたって国政選挙・

県および町管理の選挙のほか、市町村合併の是非を問う住民投票などの選挙管理の実を収められ、積極的に明るく正しい選挙啓発に尽力された功績に対して表彰されたものです。

表彰式は、5月31日に高知県市町村共済会館で開催された高知県市町村選挙管理委員会連合会総会の場で行われました。
今後、明るい選挙啓発にご尽力いただきますよう、よろしくお願いたします。

元気に育て！ ヒラメ稚魚放流

黒潮町では、水産資源の維持・増大と安定的な漁業生産を図るために、沿岸での生息に適したヒラメの稚魚の放流を毎年行っています。

今年も高知県・高知県漁協と共同して計画を立て、高知県土佐清水漁業指導所が稚魚の育成環境に適した場所の事前調査を行い、5月31日、高知県栽培漁業センターで生産された体長7〜10センチほどの稚魚、約8万匹を活魚車で入野漁港へ運搬し、2隻の漁船で入野海岸の沖合約200メートル、水深5メートル前後の場所へ放流しました。

稚魚は、およそ2年で30センチ



→ヒラメ稚魚8万匹を漁船2隻に移し、沖へ運びます。



↑稚魚を網ですくい、海へ放流。



→放流ヒラメの稚魚。裏側は白く、黒斑がありません。この黒斑は天然ヒラメには無く、成長しても残るので、識別の目安となります。

ほどに成長し、3年目には産卵するようになります。

今年はじめに、同漁業指導所が放流ヒラメの混獲率を調査したところ、水揚げの約76%が放流ヒラメでした。今回放流したヒラメも、黒潮町の海で大きく育ってくれることを願います。